## 持続的な取組を通じた都心の空間形成指針

## 1 都心の空間の持続的成長・強化のための取組

都心まちづくりを具体的に推進する上では、取組の力点となる、まちづくりの戦略とその展開プログラムを定めるとともに、長期的な視点に立ち、都心に起こる様々なまちづくりの機運が都心の構造の具現化に資する取組になるよう適切に誘導することが重要です。

そこで、都心の構造となる「骨格軸」「展開軸」「交流拠点」及び「ターゲット・エリア」 といった主要な要素について、あるべき姿を展開指針として定めるとともに、その具現化 に必要とされる取組の方向性を骨子として定めます。

これらの骨格構造及びターゲット・エリアにおける取組を相互に連携して進めることで、 都心全体としての回遊性の向上や、にぎわい・活力を象徴する機能・空間の誘導等を図り、 都心空間の持続的成長・強化につなげていくことが重要です。

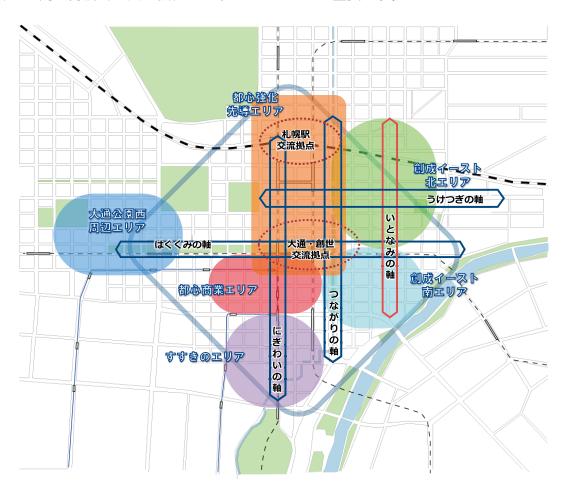


図 都心の骨格構造とターゲット・エリア

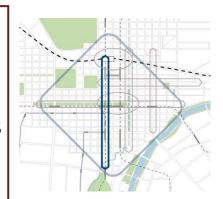
## 現状と課

## 2 骨格軸形成・強化の指針

## 2.1 駅前通 ~にぎわいの軸~

・札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)の整備と、 地上部の歩行空間の拡充による歩行者の増加

- ・都市再生特別地区(北3西4、北2西4、南2西3 南西地区)における開発を通じた、官民連携による 空間創造の展開
- ・「すすきの~大通」間の開通による路面電車ループ化
- ・沿道建物の老朽化に伴う建替え動向の顕在化
- ・空間形成の連鎖を支える地区特性に応じたビジョン づくりの必要性



展開指針

都心のにぎわい・活力を 象徴する沿道の機能・空 間の再編と、都心強化と 連動する軸双方向の起点 からの高質化

- ◎周辺のエリア特性を活かし、都心のにぎわい と活力を象徴する機能・空間を誘導
- ◎歩行者・公共交通を基軸とした回遊の中心軸にふさわしい機能の強化
- ◎札幌駅から中島公園まで、都心南北を貫く軸を活かすため、軸双方向からの既存資源・都市的資産の機能・空間の高質化

#### 象徴的な軸空間の形成

- ●札幌の玄関口からつながる目抜き通りとして、北海道・札幌らしいみどりの景観と 活力・にぎわいを感じることができる沿道の街並みを備えた軸空間の形成
- ●エリアマネジメント等と連携し、エリア特性に応じた低層部への機能誘導を促進 し、地区個性を強化

#### 多様なネットワークの形成

## 取組の骨子

- ●札幌駅からつながる地上地下の歩行者空間を中心に沿道ビルとの接続を促進し、 四季を通じて快適に移動できる重層的な回遊ネットワークを強化
- ●既存インフラを活用し、沿道ビルの開発・更新にあわせ、札幌の低炭素型市街地の 具現化に資する都心エネルギーネットワークを展開

### 軸双方向からの資源・資産の高質化による、にぎわいの軸の強化

- ●札幌の玄関口となる札幌駅交流拠点の広域交流拠点としての高質化
- ●札幌開拓のレガシー\*\*26 であり、都心南のゲートとなる中島公園北部の既存資源を活かした札幌都心らしいにぎわいと豊かな環境を体感できる都市観光・交流の場の強化

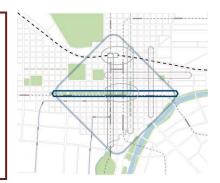
※26 レガシー: 過去の遺産。

# 現状と課題

## 2.2 大通 ~はぐくみの軸~

・札幌の開拓期からの都市形成を支えたレガシーとして の大通公園の存在

- ・大通交流拠点地下広場の整備に伴う駅前通との結節点 における公共空間の拡充
- ・大通公園において年間を通じてイベント等を開催する など、札幌の経済振興・交流の場としての活用
- ・レガシーにふさわしい大通公園の次の姿及び沿道を含めた軸としてのビジョンづくりの必要性



展開指:

札幌のまちを形成する根幹 となる歴史を備える東西軸 として、潤いあるみどりを 中心に、札幌の都市文化・ 新たな価値をはぐくむ空間 の創出

- ◎沿道の特性に応じたみどりの空間と活用空間のメリハリのある空間の創出
- ◎沿道空間と一体となった中核的なパブ リックスペースとしての大通の実現
- ◎都心東西のエリアをつなぐ、札幌の都市 文化、価値を体感できる空間の創出
- ◎創成川以西のにぎわいを創成川以東まで波及させる連続性のある空間形成

## 骨格軸の強化

- ●大通公園を中心に南北の両街区とのパブリックスペースや回遊空間、みどりの連続性を生み出すことによる、レガシーにふさわしい象徴性の強化
- ●大通公園及びその沿道周辺を、札幌を象徴するレガシーとして次の時代につなげていくための検討
- ●大通公園を中心とする「はぐくみの軸」形成に関わるビジョンの検討と、それを踏まえた地区計画・景観計画重点区域の検討





### 都心東西市街地の連携強化

- ●西 11 丁目周辺と創成東地区を結び、駅前通と交差する東西軸として、各エリアに 固有の歴史・文化・集客資源等への人々の流動を生み出す回遊性の高い移動空間を 強化
- ●土地利用更新等を通じたみどりの強化、回遊空間の強化に伴い、創成川以西・以東の連続性を向上

## 現状と課題

## 2.3 創成川通 ~つながりの軸~

・ 創成川通アンダーパス連続化により、都心通過交通 の円滑化が図られたほか、地上部の混雑が緩和

- ・アンダーパス連続化に伴う親水緑地空間の整備により、にぎわいを創出
- ・都心東西の隔たりを解消し連続性を高めるための、 沿道空間の更新・強化の必要性
- ・都心と高速道路間のアクセス機能強化の必要性





取組の骨子

広域からの都心アクセス を支えるとともに、豊かな 環境を活かした市民の交 流・つながりを創出

- ◎広域交通ネットワーク機能の強化
- ◎親水緑地空間と連動した沿道空間でのオープンスペース創出等による、都心東西市街地の連続性の強化
- ◎狸二条広場の活用による地域活性化の推進

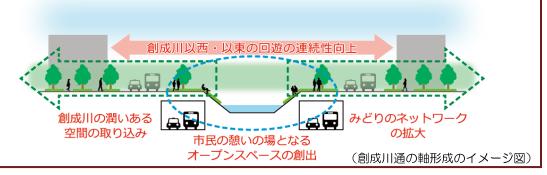


### 広域交通ネットワーク機能の強化

●札幌の広域的なネットワークの一翼を担う幹線道路として、都心と高速道路間のア クセス強化

#### 創成川以西・以東の市街地の連続性強化

- ●みどりや水辺環境と呼応する、良質で落ち着きのある回遊環境の活用
- ●骨格軸沿道の機能・空間の強化により人々の流動を生み出し、都心東西市街の分断要素から、連携軸としての空間的・質的転換を促進



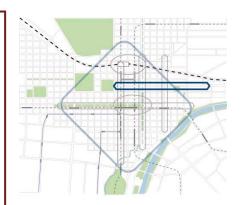
### 狸二条広場の活用による地域活性化の促進

●狸二条広場の活用を通じて、創成川通周辺、都心東西の連携を促進

## 2.4 北三条通 ~うけつぎの軸~

## 現状と課題

- ・道庁赤レンガ庁舎や開拓使麦酒醸造所跡(現サッポロファクトリー)、旧永山武四郎邸をはじめとする札幌開 拓の歴史を伝える資源の点在
- ・都市再生特別地区における北3条広場(アカプラ)の 整備
- ・創成川以東の電柱地中化に伴う回遊環境・景観の向上
- ・創成東地区におけるパブリックスペースの不足

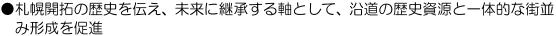


展開指針

札幌発展の歴史・文化を活かした街並み、空間の形成 とその活用

- ◎沿道の建替え更新に合わせた景観の連続性と地区の歴史を伝える伝承性の強化
- ◎北3条広場を起点としたパブリックスペースの連鎖を生み出す空間の創出と活用の促進

### 歴史を活かした街並み形成の推進



- ●道庁赤レンガ庁舎から連続して、通りのイメージを象徴する素材を活用、沿道の建替え更新時への導入を促進し、通りの一体性を強化
- ●旧永山武四郎邸、旧三菱鉱業寮及び永山記念公園の改修整備に伴うパブリックスペースの強化とその活用

## 北3条広場を起点とする広場空間の連鎖

- ●都心東西を結ぶ軸として、軸上に点在する広場等の資源を活かした活動を展開
- ●既存の歴史的資源やイチョウ並木などの特徴的な景観を活かした、市街地再開発等の動向と連携した滞留空間・交流の創出により、奥行きのある軸空間を形成

## 取組の骨子

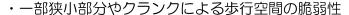
現状と

課

題

## 2.5 東四丁目線 ~いとなみの軸~

・創成東地区におけるまちづくりの基軸(展開軸)としての東四丁目線の位置付けの明確化





創成東地区の職・住・遊を 支える多様な機能の複合化 と、創成イースト南北の回 遊性の向上を支える通りの 形成

- ◎まちづくりと連動した道路空間の活用 検討の推進
- ◎沿道の活用可能なストックを活かした生業のみえる空間創出の展開

## 都心まちづくりを支える軸の一つとしての空間・機能強化

- ●創成東地区のコミュニティや来街者の安全・安心で快適な移動空間を実現
- ●通りの課題である線形を解消し、沿道と一体的な街並み形成、機能誘導を図り、創成東地区まちづくりの基軸にふさわしい空間形成を推進

### まちづくりへの通りの活用

- ●歩道空間の多様な活用により、まちの中心軸として、まちづくり活動が表出する街 並み形成を推進
- ●エリアマネジメント活動との連携から、リノベーション等を通じて地区の魅力を高める起業環境の形成を図り、営みの見える通りづくりを推進

## 3 交流拠点形成・強化の指針

## 3.1 札幌駅交流拠点

現状と課題

- ・北海道新幹線札幌開業を平成 42 年度末に予定
- ・関係主体による札幌駅交流拠点再整備構想の検討
- ・北5西1街区や創成川以東など、札幌駅の近傍でありながら低未利用地が残されている
- ・駅周辺施設や地下施設などの老朽化



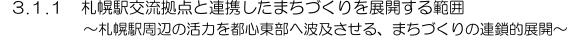
北海道・札幌の国際競争 力をけん引し、その活力 を展開させる「起点」の 形成

◎道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と 高次都市機能・交通結節機能の強化



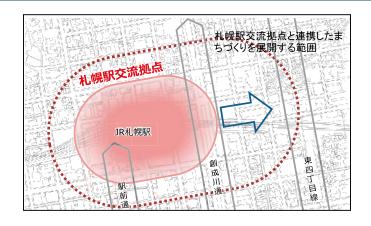
### 道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化

- ●駅前広場や北5西1、北5西2街区の一体的な整備による、札幌のシンボルとなる 拠点の形成
- ●国際水準の業務・観光・宿泊・商業等の高次都市機能の集積
- ●北海道新幹線札幌開業を見据えた、都心の起点となる一大交通拠点の形成
- ●エネルギー供給拠点の整備やみどり豊かな空間の形成等、環境・防災性能に優れたまちづくりの展開
- ●創成川を挟んだ東西市街地の連携を促す空間の形成





- ●札幌駅交流拠点のプロジェクトと呼応する連鎖的・段階的な再整備の促進
- ●街区整備に合わせたエネルギー・歩行者ネットワークの形成と、周辺エリアとの連携・接続



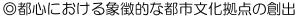
## 現状と課題

## 3.2 大通・創世交流拠点

- ・時計台やテレビ塔、大通公園、創成川公園等、観光・交流資源の集積
- ・官民協働による大通交流拠点まちづくりガイドラインの策定と大通交流拠点を構 成する四つ角街区の建替え・更新の進展
- 大通交流拠点地下広場の整備
- ・創世 1.1.1 区北 1 西 1 地区市街地再開発事業の推進
- ・創成川通アンダーパス連続化事業と創成川公園の整備
- ・創成川を介した東西連携と大通を介した南北の連携の弱さ



## 質の高い文化的なライ フスタイルを支える機 能・空間の形成



- ◎札幌の顔となる大通を基軸とした多様な活 動、交流の創出
- ◎骨格軸を介した東西・南北市街地の連携・結 びつきの強化
- ◎両交流拠点をつなぐ大通を一体的に魅力向上



取組の骨子

#### 札幌の都市文化を発信・体感する拠点機能の展開

●創世 1.1.1 区北 1 西 1 地区における官民連携プロジェクトや大通西 1、西 2 街区の あり方検討等を通した札幌の都市文化を発信・体感する拠点機能の形成

#### 交流拠点を核とした、人とまちをつなげるネットワークの強化

- ●観光・交流資源を活かした空間・にぎわいの連鎖・連携
- ●創成川東西の市街地の連携強化と創成東へのゲートとなる空間の整備
- ●大通公園南北街区の連続性の強化

